

りんかい日産建設職員組合

旧りんかい建設と旧日産建設は、平成15年(2003年)7月に会社合併し、りんかい日産建設として港湾工事、空港土木をはじめ、道路、シールド、トンネルなどの土木分野ならびに工場、商業施設などの建築分野という、旧両会社の特徴を活かして発展しています。

組合も、平成16年(2004年)3月に統合され、りんかい日産建設職員組合として、組合員が働きがいを感じる魅力ある職場をめざし、日々目の前のことからコツコツと活動を展開しています。

現在の本社並びに組合事務所は浜松町の駅に近く、新幹線や飛行機の利用に便利な場所にあります。

- | | |
|---------------------------|---------------|
| ● 設立：平成16年(2004年)3月 | ● 支部数：7支部 |
| ● 組合員数：290名(2013年7月31日現在) | ● 本部執行委員数：4名 |
| ● 組織率：約60% | ● 中央執行委員会：年4回 |



左から *松原(広島支部長)、*稲垣(九州支部長)、*松崎(大阪支部長)
*氏丸(名古屋支部長)、*菱野(東京支部長)、浦川中央執行委員長
大槻事務局長、羽生副委員長、*佐々木(水戸支部長)、*野原(東北支部長)
榎左 田尻副委員長、榎右 坂本北海道分会長 *は中央執行委員



北陸新幹線水橋高架橋(富山県)



アーバンモール福岡(福岡県)

建設産業の魅力向上にむけて

りんかい日産職組では、「踏み出そう新たな一歩!」をスローガンに活動を展開しています。

建設産業は国の基幹産業の一つでありながら、建設現場の中は一般の方がうかがい知ることが難しく、「何をやっているのかわからない」と思われている方が多いと思います。不透明感をなくすためにも、一般の方対象の現場見学会や地域住民とのコミュニケーションが大切だと感じています。

建設産業を魅力あるものとするには、良い部分をもっと外部に誠実に伝えることが大切だと思います。たとえば、熊本県のPRキャラクター「クマモン」などを見習って、対外的なアピールに力を入れることも良い方法だと思います。建設産業が魅力ある、活気溢れる産業になれば、愛社精神にもつながるのではないのでしょうか。



浦川中央執行委員長

組合執行部の取り組み

組合執行部では、現場での技術系人材の情報を会社側に紹介するなど、採用にむけた情報提供をすることで、社員不足を解消し、主に作業所の労働環境の改善につなげるべく活動しています。

外勤技術者は、たとえば農業に関連する工事であれば、農作業の進み具合による繁閑により、作業所での休みを計画的に設定できず、きついと感じるようです。また、近隣協定のために作業日が制限されるなど外的要因により



支部レクリエーション (九州支部 ビーチバレー大会の様子)



休日取得状況が決まる労働環境や、単身赴任を伴う転勤が多いという人事異動について不公平感をもつ組合員の声も聞きます。これらの不公平感を解消するためにも、賃金面において、作業所手当、家族手当など、諸手当の支給基準見直しを申し入れしているところです。

広報面では、社内イントラ上の回覧「組合」に日頃の組合活動を紹介しています。これにより少しでも多くの組合員が組合活動に興味をもってもらえることを期待しています。

また、各支部が主体となってレクリエーションを企画・実施しています。多くの組合員が参加することにより、組合活動の理解促進と組合員間の連帯意識の向上につながっています。

組合員の労働条件向上にむけて

ワーク・ライフ・バランスを実現させるためには、休日が取れる、家族との時間をつくれる環境作りが大切だと感じます。最近、東北地方での復興工事が増えて、単身赴任となっている組合員に負担がかかっています。たとえば、九州からの赴任者は、帰省移動に時間がかかりすぎて、殆ど休みにならないので帰宅を見合わせている人がいます。こうしたことも、休みを取得しようとする意識の向上を阻害し、結果的にワーク・ライフ・バランスを実現できない要因の一つになっているのではないかと思います。

日建協には業界団体と協力し、発注者団体に対し、休日取得につながる適正工期の考え方の浸透にむけて声を上げ続けて欲しいと思います。



大槻事務局長

浦川中央執行委員長と大槻事務局長に、定期大会直後にもかかわらず、組合活動について熱く語って頂きました。

組合員数の減少に伴い、執行体制の縮小が懸念されるなかで、活動維持の難しさを感じながらも、組合活動を少しでも前向きに展開したいとのことです。りんかい日産職組のみなさんの今後更なる活躍を祈念致します。日建協も応援していきます。

Compass

<http://nikkenkyo.jp/>

info@nikkenkyo.jp

11

November
2013



カルナック神殿のハトシェプスト女王のオベリスク
(エジプト：ルクソール)

日建協

時短特集

ようこそタイムゾーンへ

— 時間は買えない、過ぎた時間は戻らない、だからこそ価値がある —

建築(民間)提言

きっと変わるはず…変えなきゃいけない

建築(民間)工事の適正な工期で受発注できるルールづくりについて

年末年始にリフレッシュ!

オススメSA・PA

休憩だけじゃ
もったいない!

ちょっとひととき…ある休日のできごと

休日って何してる?

2013年度の日建協の委員会 私たちが盛り上げます!

◆土木アドバイザー会議 ◆建築アドバイザー会議
◆時短推進委員会 ◆賃金政策委員会 ◆財政と活動に関する小委員会

2014年6月・11月 統一土曜開所運動キャッチフレーズ募集

お酒と上手に付き合おう! ①適量ってどのくらい?

続・東西組合細見 22 — りんかい日産建設職員組合
クロスワードタイム 他

ようこそタイムゾーンへ

— 時間は買えない、過ぎた時間は戻らない、だからこそ価値がある —

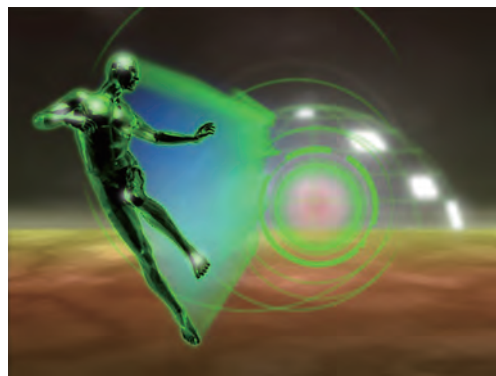
よく「時短」という言葉を使いますが、いったい「時短」とはなにか、そしてそもそも「時間」とはなんなのでしょう？

私たちが普段使用している時短という言葉は「労働時間の短縮」であり、そのためにさまざまな取り組みを行っています。人によって「求め、欲する時間」の内容や量は異なると思いますが、皆さんは自分のプライベートの時間をお持ちですか？ そのような「時間」に対する強い思いが「ある」と「ない」とでは、時短に対する意識にも大きな違いがあると思います。

今回は「時間」そのものについて、未来・過去・現在に触れながら、さまざまな視点から探っていきましょう。

未来へタイムスリップ!!

3D画面のテレビでは、市民ランナーでありながら日本新記録を打ち出した〇〇建設のAさんの記者会見が行われていた。土日、祝祭日の作業が行われなくなって早くも7年が経っていた。Aさん以外にも社会人野球から計7名がプロへ転向するなど、スポーツで目ざましい成果をあげた建設業界。週2日の休日の練習に加えてノー残業日の水曜日、大会前になると平日も仕事を終えてから猛練習を行ったようだ。個人の努力もさることながら、「会社の後押しと仲間の理解があったからこそ」とAさんがインタビューで語ったように、ワーク・ライフ・バランスを現実のものとしてバックアップしてきた会社の存在は、やはり大きい。次の目標について「チームで出場する駅伝大会で優勝をめざします」と、自信ありげに語っていた。私は未来での滞在時間を終え、興奮覚めやらぬまま現代へ戻されたのである…。



過去へタイムスリップ!!

過去…多くの詩人たちが「時間」について考え、さまざまな「名言」(詩)を残し、現在も語り伝えられています。

『未来はすでに始まっている。』 — ロベルト・ユンク

『古き良き時代。全ての時代は古くなると良くなるもの。』 — バイロン

『その日その日が一年中の最善の日である。』 — ラルフ・ワルド・エマーソン

『君、時というものは、それぞれの人間によって、それぞれの速さで走るものなのだよ。』 — ウィリアム・シェイクスピア

タイムスリップを体験する方法

今回は特別に、皆さんにタイムスリップを体験する方法をお教えしましょう。

タイムスリップするためには、ものすごい集中力が必要となるため、ざわざわしていない静かな寝室で行います。成功率には個人差があります。(※ 安全が確保できない場所で行くと、現在に戻れない恐れがあり危険です)

《未来へ行く方法》

まず自分が行ってみたい「未来」を思い描きます。(実在する未来へ行くわけなので、あまり現実離れしては、そこへ行くことはできません) 次に、なぜ「その未来」がその状態で存在しているのか、そうなっているのかについてしっかり理論付けし、理解して下さい。一番大切なのは「絶対にこうなっているはずだ」と自信がもてることです。(自分が一生懸命取り組んでいる出来事があれば、その成果が表れる「未来」を思い描くと、より効果的です)

次にゆっくり目を閉じて、そのリアルな光景を繰り返し思い描きながら、「その場所へ行きたい」と強く念じて下さい。運が良ければ未来にタイムスリップできます。

《過去へ行く方法》

人間の脳には、過去のデータがたくさん蓄積されています。音声データや映像データ、その時の感情や気持ちなど…。その中で最も楽しかった思い出に関する情報を、できるだけ多く集めて下さい。(実際の出来事をより忠実に再現できたらOKです) あとは未来へ行く方法と同様に、その光景を繰り返し回想しながら「その場所へ行きたい」と強く念じるのです…。



「時間」とは止まることなく常に流れていて、「過去」「現在」「未来」の3つの視点で捉えることができます。左記のロベルト・ユンクの名言を読んであらためて考えると、「現在」というのは、すぐに「過去」となり、「未来」は遥か先から現在に繋がっています。私たちが「建設産業の明るい未来」をめざすのであれば、早く行動しないと近い未来はすぐに訪れてしまいます。また、未来に終わりはないため、継続して行動して行く必要がありますね。

バイロンの言葉も納得できます。「過ぎてしまえば、みな美しい」という歌もありましたが、どんなに辛い出来事があっても、どんなに苦しい時代でも、未来にそれを乗り越えた自分が存在し振り返ることができれば、きっと良い思い出に変わるでし

よう。ラルフ・ワルド・エマーソンのように、「毎日が最善の日」と思って1日1日を大切に過ごし、明るい未来が待っていることを信じてがんばりましょう。

ウィリアム・シェイクスピアは時間の速さは人によって感じ方が違うといっています。では、実際に時間の単位や計り方などはいつ頃確立されたのでしょうか…。

時間の起源

時間という概念は、紀元前3500年頃からあり、最初に時間を計る方法を思いついたのは古代エジプト人で、巨大なオベリスクの影を日時計に見立てたことが起源であるとされています。1日を24時間としたのもエジプト人で、現在使われている六十進法の時間単位は紀元前約2000年にシュメールで考えられたとされています。その後、水があふれる仕組みを利用した水時計や砂時計、また、中国・日本・イギリス・イラクではロウソク時計を使って時間を計っていたそうです。

※ オベリスクとは、古代エジプト期に神殿などに立てられた記念碑(モニュメント)の一種。

※ シュメールとは、メソポタミア(現在のイラク・クウェート)の南部地域。

(参考文献: ノイゲバウアー, 1984, 古代の精密科学, 恒星社厚生閣 他)



エジプトのオベリスク

そして現在へ ～技術の向上などにより、短縮された時間～

長い歴史を経て、そして さまざまな進化を遂げて「時間」は「短縮」されてきました。例えば…



【情報取得・伝達時間】

インターネットや光ファイバーなど、通信技術の向上により、情報入手や情報伝達にかかる時間が大幅に短縮されました。TV電話を利用したTV会議、郵送からメールによるデータ送信 など…



【移動時間】

東京から大阪まで移動する時、大昔は徒歩で移動していました。その後、馬などの動物を利用するようになり、自動車や電車が普及し、今では新幹線や飛行機を利用することによって、数時間で移動することが可能となりました。また、将来的にリニア新幹線が開通すると、さらに移動時間が早くなります。(搭乗手続き等を考慮すると、飛行機より便利かもしれませんね)



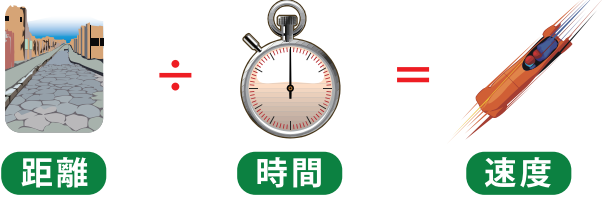
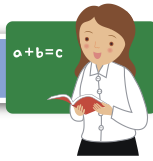
【建造物をつくる時間】

建設技術の向上などにより、ダム、地下鉄、超高層ビル、国際空港、など大型建造物を完成させるまでの時間も早くなりました。もし今、ピラミッドをつくらうと思えば、当時よりも短い時間で完成させることが可能でしょう。

上記に記載した以外にも、多くの分野において技術が向上し、その発明や継続的な研究の成果により、費やす時間が減少した例はまだたくさんあります。



算数で習う、距離と速度からもとめられる時間



皆さんもよくご存知のとおり、小学校の算数の授業で習う公式です。これを応用して距離（道のり）を速度で割ると、出発してから到着するまでの時間をもとめることができます。（→ 時間＝距離 ÷ 速度）

この公式を応用して、次のように考えられないかな？（※ 作業量を仮に「ワーク」という単位で表現）

$$\begin{array}{lcl} \text{1日の労働時間} & = & \text{1日の作業量} \div \text{作業速度} \\ (10 \text{ h}) & = & (100 \text{ ワーク}) \div (10 \text{ ワーク/ h}) \end{array}$$

※仮定が正しければ、**1日の作業量を減らす**（ムダな書類をなくすなど）、**作業速度を上げる**（職員の増員、チームワークで作業効率を上げるなど）と、1日の労働時間を減らすことができますよね。

例）取り組みが成功し、工期延長で1日の作業量が90ワークに！1人増員（応援）となり、担当業務の一部を任せて作業速度が1.5倍に！

$$\begin{array}{lcl} \text{1日の労働時間} & = & \text{1日の作業量} \div \text{作業速度} \\ (6 \text{ h}) & = & (90 \text{ ワーク}) \div (15 \text{ ワーク/ h}) \end{array}$$

人数が増えれば1人あたりの作業量も減少し、仕事の種類が減れば、1つの仕事に集中できて作業速度もあがりますよね。また、打合せの時間や電話対応の時間を短縮できれば、さらに1日の労働時間が短縮されますね。

このように、1日の作業量を減らす方法や作業速度を上げる方法を公式にあてはめたり、もう少し深く応用したりして、職場の皆さんでぜひ考えてみて下さい！

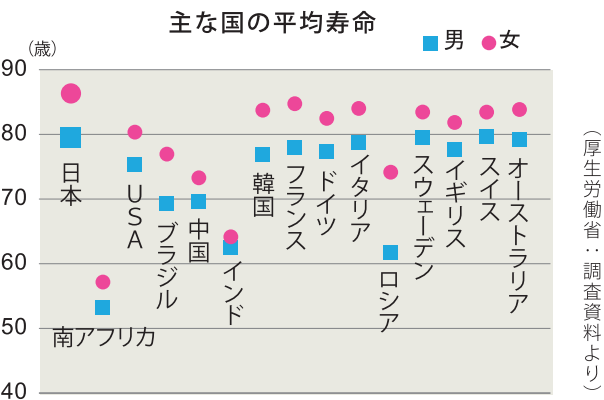
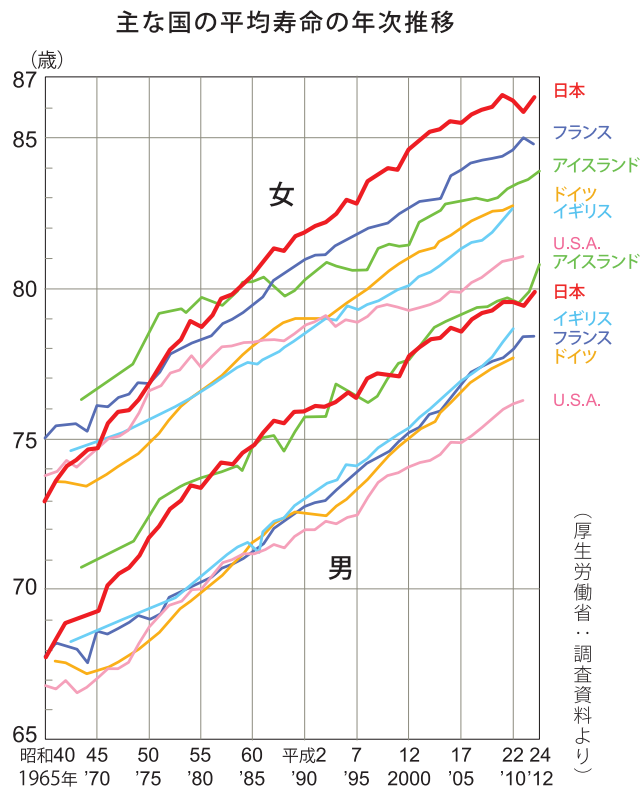
私たちが生きられる時間

ところで、私たちにあたえられている時間ってどれくらいあるのでしょうか？

医療技術の進歩や食事環境の向上により、人が生きる時間（寿命）は昔と比べて格段に長くなりました。厚生労働省の統計調査によると、日本の平均寿命は、昭和40年に、男性が約68歳、女性が約73歳であったのに対し、平成24年には、男性が約80歳、女性が約86歳と大幅に長くなっています（左下のグラフ：厚生労働省統計調査資料より）。つまり、48年前には今より12歳以上も平均寿命が短かったのです。

また、アメリカ、フランス、イギリス、ドイツなどの国も平均寿命は右肩上がりとなっていて、特に日本の平均寿命は世界的にみてもトップクラスです。

しかし、いくら平均寿命が長くなったといっても、無限に生きられるわけではありません。人の命には限りがあり、限りがあるからこそ、その一生を精一杯生きようと努力するのですよね。人生は一度きりです。悔いのないように、精一杯生きましょう！



自由な時間を増やそう！ そのために仕事に費やす時間を減らそう！

限りある時間の中で、私たちの1日の過ごし方はどうなっているのでしょうか。

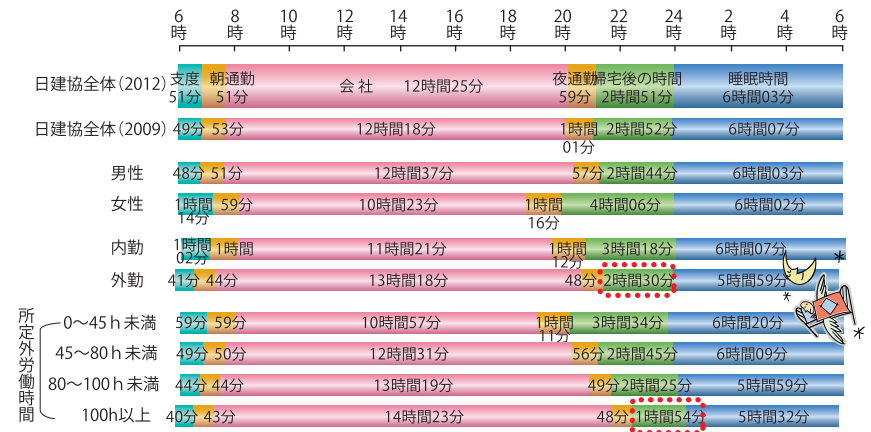
2012年 日建協時短アンケートの概要から「平均的な一日の過ごし方」（右のグラフ）を見てみましょう。表の赤い点線で囲ってある部分を見ると、外勤の帰宅後の自由な時間はわずか2時間30分という結果となっています。また、所定外労働時間が100時間以上の場合は1時間54分と、さらに自由な時間は減っています。

過重労働が続き、睡眠時間やストレスを解消する時間が失われ続けると、先ほどご紹介した「私たちが生きられる時間」は大幅に短くなってしまいかもかもしれません。

自由な時間なら、休みの日にまとめて確保することができそうですが・・・休日は休めているのでしょうか。

下のグラフは、休日取得状況についてのアンケート結果です。日曜日は全職種でほぼ休めているものの、土曜・祝祭日には外勤者の場合、暦上の日数の半分以上しか休めていません。これでは自由な時間を確保できません・・・。

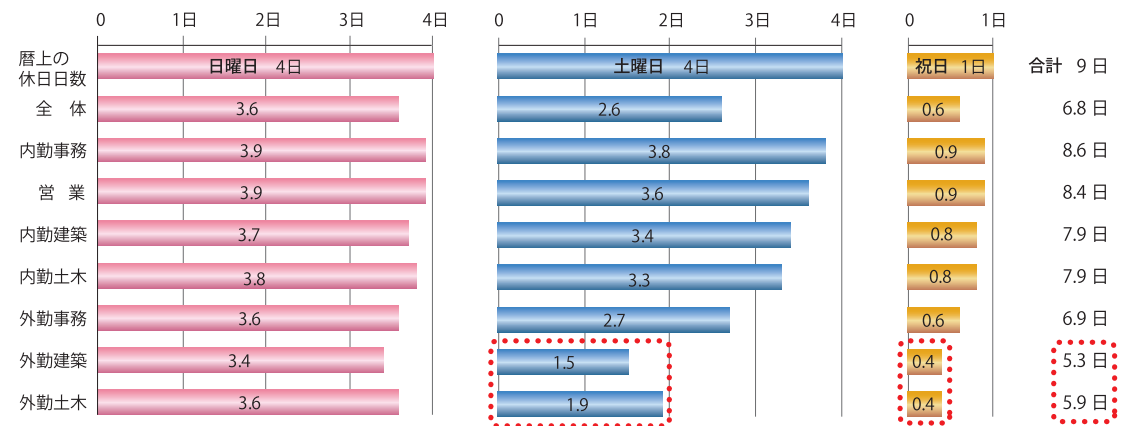
平均的な一日の過ごし方（平日）



私たちの心と体の健康を維持するために、またワーク・ライフ・バランスを実現するために、少しずつでも労働時間を短縮し、「自由な時間」を確保したいですね。

「週休2日？ そんなの、もう当たり前だよ」という時代が来ることを信じて、一丸となって取り組んで行きましょう！

休日取得状況（11月）



時間の使い方次第で未来は変わります！

皆さん、いかがでしたか？「時間」って奥が深いですね。「時短」はこの奥深い「時間」を短縮するわけですから、簡単なことではないですよ。でも、あきらめないで下さい。昔は日曜日でもあたり前に作業していたのが、先輩方の粘り強い、継続的な取り組みによって、現在は休めるようになりました。

時間は買えない、戻せない、全ての人に平等に与えられた貴重な財産です。時間の使い方次第で未来が変わります。ストレス発散をする時間、休養する時間、親孝行や家族と過

ごす時間など、時間は誰にとっても大切です。

日建協では「ワーク」の魅力向上とともに、みなさんの「ライフ」が少しでも充実し魅力的なものになるよう、今後も時短活動に取り組んで行きます。皆さんも継続して時短に取り組んで下さい。

最後に、未来へのタイムスリップに成功した人は、その未来を信じて努力を継続して下さい。あなたが見た未来は、きっと現実となり、やがて美しい過去へと変わって行くはずですよ。

日建協が発行している機関誌「Compass」では、これまで「時短特集」と題して、みなさんが興味をもってもらえるようなテーマについて掲載してきました。日建協ホームページの「広報 → Compass」から参照可能となっていますので、ぜひ読んでみてください。

2012年11月号
2011年11月号
2010年11月号

睡眠について
The Time Management
知って充実！仕事術！
タイムマネジメントから考える
時短ノスズメ

2009年11月号
2008年11月号
2007年11月号
2006年11月号

土休を考えよう
ワークライフバランスについて
悪循環を打ち破れ
時短×休日取得

http://nikkenkyo.jp/

きっと変わるはず…変えなきゃいけない

こんにちは！ このたび適正工期推進マスコットを拝命しましたテキセイインコです。
僕の役目は、適正工期での受発注を推進すること。そして、そこで働く全ての人のワーク・ライフ・バランスを実現させ、魅力と活気に溢れた建設産業をつくること。

提言の背景

～長時間労働の現状と要因～

Q 建築作業所で働く仲間からは、「休む暇もない」なんて聞くけど、所定外労働時間の現状はどんなの？

A 右のグラフを見て！ 建築外勤職の過去10年の所定外労働時間は、平均で80時間／月を超えていて、2012年は、**99.1時間／月**という最悪の状況なんだ。

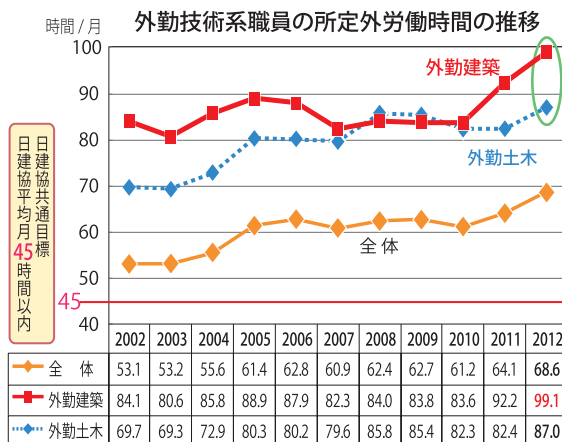
Q 99.1時間。それは大変な数値だ！ その長時間労働の要因は何だと考えているの？

A 長時間労働の理由を聞いたら、「工程が厳しくて休めない」という声が多かったんだ。そこで**工期に着目**したんだ。

Q 工期について、法律に定めはないの？

A 建設業法では、着工日・竣工日・引渡日は契約書に記載するよう定められているけど、**休日条件は定められていない**んだ。受発注者の合意があれば、どんな工期でも契約出来てしまう。国交省が策定した「発注者・受注者間における建設業法令遵守ガイドライン^{*1}」では、「**適正な工期設定を必要とする**」って書いてあるけど、明確なルールは無いんだ。

^{*1} 発注者・受注者間における建設業法令遵守ガイドライン <http://www.mlit.go.jp/common/000234749.pdf>



提言の内容

Q ガイドラインに記載されている「適正な工期設定を必要とする」じゃ明確なルールにならないの？

A 日建協では、**4週8休を含む不稼働日を考慮した工期（日建協標準工期^{*2}の考え方）が適正**であり、**適正な工期で受発注が行われるべき**と考えているんだ。だけど、発注者、受注者など立場によって解釈は様々で、統一したルールの運用には至っていないのが実情。だから、ルールづくりにむけた活動をしてるんだ。

^{*2} 日建協標準工期 <http://nikkenkyo.jp/archives/1104>

Q ルールづくりにむけた活動って具体的にどんなことしてるの？

A 工期に関するルールの必要性について、関係機関に対して働きかけを行っているんだ。その他にも、工期の問題をたくさんの人に考えてもらうために、広報活動も行っているんだ。これから紹介するよ。

…日建協の提言および関係機関の回答

◆行政発注工事は民間工事の模範となるべき。休日条件の明記された**公共建築工事標準仕様書**の内容を周知徹底願いたい。^(※)

◆適正な工期で受発注できるルールづくりの必要性についてご理解いただきたい。

◆民間建築工事において適正な工期の目安となる標準的な工期設定の考え方を会員企業へ示していただきたい。

◆適正な工期で受発注できるルールづくりにむけて提言活動を継続する。支援、協力をお願いしたい。

国土交通省

行政として民間の契約には介入できないが、受発注者がともに会する説明会などで公共建築工事標準仕様書の施工条件を継続して周知に努める。

設計者団体・資格者団体

必要性は理解できるが、適正な工期は、施工者が中心となり示すべき問題だ。しかし、産業が抱える問題は、産業全体で考えていくべき。意見発信を続けて欲しい。

業界団体

適正な工期の必要性は理解できる。このような提言を労働組合が行うことは良いことだと思う。業界団体としても適正な工期について検討する。

企業経営者

過当競争の中、一企業の努力では解決が難しい問題だ。過度に短い工期設定で契約することを規制やルールで防止すべきと考える。意見発信を続けて欲しい。

※公共建築工事標準仕様書では、行政機関の休日に工事は行わない旨が記されています。

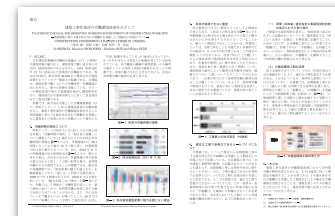
建築（民間）工事の**適正な工期**で受発注できるルールづくりにむけて

重責だけど、やるからにはぜったい何か変えてやる！ 実現してやる！と真剣に思ってます。
一生懸命頑張りますので、これからヨロシクお願いしますね。
今日は勉強のために、日建協が行っている建築（民間）提言について詳しく聞いてみたいと思います。

…提言に関する広報活動 ～建設産業で働くたくさんの人に工期について考えて欲しい～

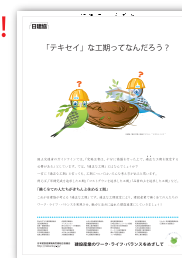
日本建築学会主催の第29回建築生産シンポジウムで発表！

建築生産シンポジウムで有識者にむけて発表を行いました。建設産業の魅力向上には、「適正な工期設定により健全な労働環境を実現することが必要である」と強く訴えました。



建設専門紙に意見広告を掲載！

7月29日に建設専門紙に意見広告を掲載しました。「働くすべての人たちがきちんと休める工期」が適正な工期であると訴えました。



Q これまでの提言活動を振り返ると？



A 関係機関への継続的な働きかけや広報活動により、ルールづくりの必要性について産業全体の理解は深まっていると感じます。今春、業界団体である日建連は、「民間工事における適正な受注活動の徹底に関する決議」を行い、その中で「適正な工期の確保」を会員企業に促しています。6月には、国交省が主要な民間発注団体に対して適正な工期設定を要請、7月には、日建連が国交大臣に対して、官民の建設工事発注者に対して適正な工期設定を徹底するよう要請しました。これまで私たち日建協が訴え続けてきた「**適正な工期**」について、**考える機運は確実に高まっています**。最後に建設産業を取り巻く動きを紹介して今日の勉強会は終了にします。気になるところは検索してみてください。真剣に伝えたかったので硬い表現になったけど、少しは役に立ったかな。今日は一日お疲れさまでした。

…建設産業を取り巻く動き

国土交通省

- ・復旧・復興事業における施工確保対策策定／建設業団体トップに大臣が直接要請
- ・担い手確保・育成検討会設置／検討項目
 1. 専門工事業者等評価
 2. 技能労働者技能の「見える化」
 3. 登録基幹技能者の更なる普及
 4. 技能労働者に対する教育訓練
 5. 戦略的広報
- ・今後の建設産業政策及び入札契約制度の検討の方向性取りまとめ／4つの改革理念
 1. 単発の個別品質に加え、中長期的な担い手の確保
 2. 時代のニーズに応えられる官民パートナーシップの実現
 3. 企業評価・選定の理念の明確化と行き過ぎた価格競争の是正
 4. 元請から技能労働者まで施工体制全体の持続可能性確保
- ・公共工事設計労務単価15%引上げ実施／建設業団体、公共発注者及び民間発注者に対して技能労働者への適切な賃金水準の確保を要請（都道府県も同水準へ）
- ・社会保険未加入対策推進協議会設置／下請企業から元請企業へ法定福利費を内訳明示した標準見積書の提出を一斉開始、主要民間発注者団体にも理解求める

民間発注者団体

- ・施工者とWin-Winの関係構築を目指す（コメント）
- ・人の問題を含め、建設産業の構造改革に期待する（コメント）

業界団体

- ・復旧復興事業の迅速かつ円滑な施工確保を会員企業に周知
- ・民間工事における適正な受注活動の徹底に関する決議／決議内容
 1. 適正価格での受注の徹底
 2. 適正工期の確保
 3. 適正な契約条件の確保
- ・社会保険未加入対策の一環として労務賃金改善等推進要綱決定／改めて重層下請構造を含め、技能労働者の確保、育成に向けた総合的な取組みの推進を決意
- ・東京五輪等に係る事業の執行について提言
- ・公共事業の適切な執行に関して決議／決議内容
 1. 迅速かつ円滑な公共事業の施工の確保
 2. 労働者への適切な水準の賃金の支払い
 3. 社会保険等への加入の促進
 4. 適切な価格での契約と脱ダンピング受注の推進

その他

- ・防災・減災等に資する国土強靱化基本法案が国会審議
- ・品確法・入契法・建設業法 改正法案が国会提出予定
- ・ハローワークで建設業の人材斡旋を強化

おわりに

数十年の時を経て、再び首都東京に聖火が灯ることになりました。2020年という明確なタイムリミットが示されたことで、建設産業も課題解決にむけて更に動きを加速させることが予想されます。オリンピックの開催は、私たち建設産業で働くものにとっても、その魅力をアピールできる絶好の機会であり大変喜ばしいことですが、短期間に大規模な事業が進められることから、私たちの労働環境は益々の悪化が懸念され、決して手放して喜べる状況とは言えません。

日建協ではこのような状況の変化を的確に捉え、これからも建設産業の魅力向上、組合員の労働環境改善をめざして、中長期的ビジョンを描きつつ建築（民間）提言活動に取り組みます。これまで訴え続けてきたことで機運は確実に高まっています。産業全体に正のスパイラルをおこす絶好のタイミングです。

組合員みなさん！ ともに声を大にして発信していきましょう。
—— 産業の明るい未来をめざして ——

年末年始にリフレッシュ!

オススメSA・PA

休憩だけじゃもったいない!

皆さん! 年末年始はどう過ごされますか?

日ごろはまとまった休みが取れず、家族サービスする機会をなかなか持てない方が多いと思います。帰省や旅行など連休をどう過ごすかと、そろそろ計画し始める方もおられるのでは・・・

そんな皆さんに少しでもお役に立てればと思い、家族や友人とともに楽しめる、そこが目的地となるような魅力あるSA・PAをご紹介します。

充実した商業施設NEOPASA

駿河湾沼津SAで楽しむ(新東名高速道路・沼津/上り・下り)

地中海の港街をイメージしたカラフルで明るい外観。建物外にも屋根付きテラス席のあるお店がたくさん



沼津特産のしらすと桜えび、新鮮なお刺身が
あふれんばかりの駿河丼

地中海の港街をイメージした外観。2階中央のテラスからは沼津市と三島市街の先に駿河湾を望むオーシャンビューが楽しめます。沼津市場が近いこのSAならではの目玉は、ほぼ毎日行われるマグロの解体ショー。見事な包丁さばきであっという間に解体されたマグロは、新鮮なお刺身や丼にして販売されます。海産物の他にも地元の食材を生かした名物や静岡限定のスイーツがズラリ。



↑熱気あふれるパフォーマンス、大人気のマグロの解体ショー。
中落ちやカマなどは、じゃんけんや競りで安く買えたり、無料で
もらえる場合も

立地を活かしたコンセプト型サービスエリア

別府湾SAでくつろぐ(大分自動車道・別府/上り・下り)



↑古民家を利用したレストラン棟
モダンで高級感あふれる空間で、地元の食材をふんだんに使った本格料理が楽しめる

由布院温泉の宿「山荘 無量塔」の経営者のプロデュースによる新しい形のSA。標高380mに位置し、眼下に美しい別府湾の海岸線を望み、夜は別府温泉の夜景が楽しめます。また、上りと下りをつなぐ天空遊歩道も最高のロケーション。レストランや専門店棟には、新潟や岐阜から移築した古民家が活用されていて、和を基調としたモダンで情緒ある空間が演出されています。

↓湯布院の有名なB-speakのPロールも売られています。
数量限定のため売り切れてしまう場合もあります



日本初テーマ型パーキングエリア

星の王子様PAで安らぐ(関越自動車道・寄居/上り)

プロバンス瓦や塗り壁、テラコッタタイルや石積み壁を使用した南仏風の建物



↑PAの入口側に向かって設けられているガーデン。
「キツネのほころ」 「渡り鳥のプロムナード」など、こ
こにも星の王子さまのモチーフが活かされている

作者サン・テグジュペリゆかりの南仏プロバンス地方の雰囲気演出した施設。建物のいたる所に星の王子様に出てくるメッセージが刻まれていて、1つずつ見ていくとドライブの疲れを忘れて、思わず作品の世界に引き込まれます。シンボルとなる星の王子様の像の周りにはバラ園や散策路が設けられていて、これまでのPAでは味わえなかったリラックス空間となっているのが特徴です。

一般道からも利用できるハイウェイオアシス

刈谷PAで遊ぶ(伊勢湾岸自動車道・刈谷/上り・下り)



↑ハイウェイオアシス内にある日帰り温泉
「かきつばた」
バラエティに富んだお風呂やサウナがたの
しめる

シンボルは高さ60mの大観覧車。レストランやバラエティに富んだフードコート、温泉、東海地方の名物を取り揃えた産直市場などの施設も充実しています。隣接する岩ヶ池公園では、ゴーカートやメリー

ゴーランド、アスレチック、水遊び用プールで思う存分遊ぶ、休日の人気観光スポットとなっています。温泉施設の前にある足湯コーナーは、ドライブの疲れをとるのにぴったり。



↑高速からも一般道からも利用でき、一日中遊べるレジャーエリア

Coming Soon!

江戸情緒たっぷりて
日本人が忘れかけた心のふるさとを思い出す



池波正太郎の鬼平犯科帳とコラボして、長谷川平蔵宣以が生まれた1745年から、江戸の町人文化が開花した文化文政時代をイメージして忠実に再現した、江戸情緒たっぷりのパーキングエリアが今年12月に誕生します。施設内には「玉ひで」や「船橋屋」など、江戸の味を守り続ける名店が、ここだけの限定メニューを用意してオープンを待っています。

テーマ型PA第2弾がこの秋登場

鬼平江戸処PA(東北自動車道・羽生/上り)

ちょっとひといき.....

休日って何してる？

～ある休日のできごと～

佐藤友厚



日建協の佐藤です。皆さんお休みの日は何をしていますか？家で疲れを癒す人、家族や友人と遊びに行ったり心癒す人、休みの過ごし方はひとそれぞれだと思います。私もお休みの日は普通にすごしているつもりなのですが、周囲の人達からは「休みの日ぐらい休んだら？」と言われます。どうやら私の休日の過ごし方は一風変わっているようなので、今回のちょっとひといきは私の休日の過ごし方を紹介します。

少年野球に.....参加する！

皆さんの町には少年野球チームやサッカーチームはありますか？クラブチームはコーチを職業としている指導者がいますが、町や学校のチームは保護者や近隣住民が指導をしているケースがあります。私もそんな保護者の一人として、参加をしています。もっとも野球経験は小学生までだったので、技術的指導は難しいですが、監督や



他のコーチに教わりながら選手の指導をしています。

▶バッティングピッチャーをしてコントロールがよくなりました



▲審判はいつも集中していないといけなくて疲れます

▶夏合宿ではお風呂上りに野球のルールを勉強します



学校関連イベントに.....参加する！

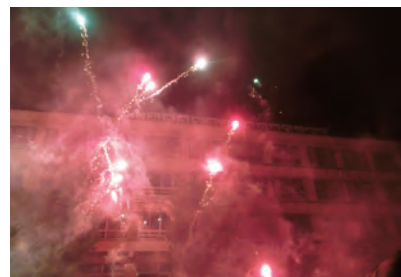
私の子ども達が通う小学校には「おやじの会」というものがあります。この会は子ども達が楽しく学校生活を送るために土日を中心に活動をするので、お父さん達が参加しやすくなっています。今年は夏休みの土日に学校に宿泊するキャンプや、校庭で花火大会をしました。都心では打ち上げ花火を上げられない場所が多いので、打ち上げ花火を自分で上げたことのない子ども達が増えています。そこで、近隣の中学生に声をかけ、おやじ達と一緒に花火を上げてもらいました。



▲夕方まだ明るいうちに準備をします



▲中学生はヘルメットを着用して花火師になります



◀派手に見えますが市販の打ち上げ花火です

地域のお祭りに.....参加する！

人件費がかからないので1個200円で売っています



皆さんの町でもお祭りをしていますよね？私の住む町では、地域住民が露店を出しており、私も地域住民の一人として店員をしています。7月には町内会主催の夏祭り！9月には神社主催の秋祭り！3月にはコミュニティセンター主催の冬祭り！7月と9月のお祭りでは「焼きそば」を担当し、3月のお祭りでは「餅つき」を担当することが多いです。秋祭りはお神輿の巡行もあります。自分で担ぐ親神輿と引率をする子ども神輿、その時はどちらも大変ですが、思い出に残る行事です。



▲焼きそばは切らないよう注意して焼いています



「わっしょい」の掛け声で子ども神輿は元気に担ぎます

地域のイベントに.....参加する！

イベントスタッフをしたことありますか？「おやじの会」にはイベントお手伝いの要請が来ることがあります。今回は味の素スタジアムで行われたイベントに参加しました。ここではアートバルーンを担当したのですが、熟練者に教えてもらい、30分後には子ども達の注文に応え「犬」や「剣」を作れるようになりました。アートバルーンは想像力があればいろいろ作れますが、なかなか難しいですね。



▲アートバルーンに初挑戦です！手先が器用な人がうらやましい



「剣」を作ってあげたら満面の笑みを返してくれました

最初は自分の子ども達の笑顔を見るために休日を使っていたのですが、自分の子どもが友達と一緒にいるときの笑顔を見るようになってから休日の使い方が変わってきました。

そして、複数の子ども達と接するうちに自分自身がこの子達に何かしてあげられることは無いかと探すようになり、地域行事への参加を始めました。その結果、今では地域の子供達が笑顔でいられるよう、地域の大人達と手を取り合うようになり、私自身も笑顔で過ごすようになりました。

よく周囲の人達から「休みの日も地域行事に参加して大変だね。」と言われます。確かにイベントの運営やお手伝いは大変ですが、子育ては年中無休ですし、これも自分の子どもを育てる一環です。そして何より地域の人々で子育てをすることの楽しさを知ったので、私はいつもこう答えます。「それほどでも無いよ。」と。皆さんもいろいろな休日の過ごし方をしていると思いますが、休日をおもいきり楽しみましょう。

※今回紹介した企画は全て地域の人達が休日や就業後、時には仕事の合間をぬって企画や準備をしています。職業は多種多様で建設会社勤務の方もいます。



2013年度の日建協の委員会 私たちが盛り上げます！

日建協では、テーマにあわせて委員会を開催しています。委員会活動を進めるにあたり、加盟組合の皆さんから委員を派遣していただきました。委員の皆さんからいただいた意見を活動に反映させていただきます。
皆さん、委員会活動にどうかご注目ください。 ※ 「女性技術者会議」は、別途Compassで紹介させていただきます。



◆土木アドバイザー会議

～土木現場の魅力向上にむけて～

◆土木(公共)工事に従事する組合員の問題解消をめざして

土木アドバイザー会議は、日建協の土木(公共)工事に関する提言活動をより充実させるための会議です。加盟組合からアドバイザーを募り、土木工事に従事する皆さんに協力していただく土木作業所アンケートをもとに、国土交通省の各地方整備局に対し、工期設定などに起因する労働条件の悪化に関する提言活動を行っています。

◆2013年度の土木アドバイザー会議

2013年度は大幅にメンバーが一新され、総勢16名で活動します。昨年度までの活動をふまえつつ、新しい意見を取り入れながら活動を行ってまいります。昨年同様、秋に土木作業所アンケートを実施し、組合員の労働条件を把握、分析のうえ土木(公共)工事に従事する組合員の問題解消をめざして提言活動を行ってまいります。

2013年度 土木アドバイザー(敬称略)

石倉 正敏(シミズユニオン)、一柳 哲也(安藤ハザマユニオン)、伊吹 真一(鉄建職組)、笈 哲志(西松職組)、桑野 昌晴(三井住友社組)、幸園 弘道(戸田職組)、佐々木 一禎(フジタ職組)、谷村 晃三(大鉄労組)、都留 誠(馬淵職組)、中木 靖(佐藤職組)、平光 伸明(大豊労組)、三橋 久輝(三井住友社組)、三宅 諭(東洋職労組)、村田 浩隆(ペンタユニオン)、山口 治(奥村職組)、山本 修(飛鳥労組)



土木のスペシャリストが集結しました



◆建築アドバイザー会議

～建築作業所の4週8休の実現にむけて～

◆建築(民間)工事に従事する組合員の労働環境改善をめざして

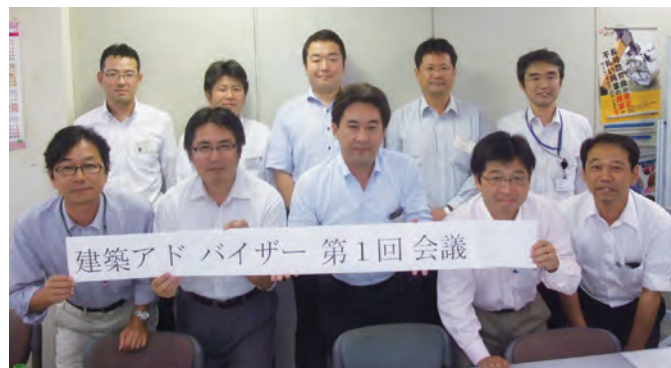
建築アドバイザー会議は、日建協の建築(民間)工事に関する提言をより充実させるための会議です。日建協は「4週8休を含む不稼働日を考慮した工期設定」の実現にむけて、2007年より提言活動を行ってきました。2012年度は「適正な工期での受発注ができるルールづくり」にむけた活動を行ってきました。継続した活動の結果、発注者をはじめ、行政や業界団体等における理解は確実に進んできていると感じています。

◆2013年度の建築アドバイザー会議

2013年度は新しいメンバーを6名迎え、総勢12名で活動します。設計、施工、積算、技術、研究など建築系の多様な職種の方が集まっています。建設産業を取り巻く環境が大きく変わって行く中、これまでの活動をふまえながら、中長期的な視点で活動の方向性や内容について討議していきます。

2013年度 建築アドバイザー(敬称略)

朝日 裕之(佐藤職組)、内田 善久(安藤ハザマユニオン)、大池 茂文(大鉄労組)、大石 功(フジタ職組)、大森 一真(奥村職組)、岡田 敏之(戸田職組)、萩野 敦(シミズユニオン)、北林 邦夫(西松職組)、小泉 奏(ペンタユニオン)、戸倉 健太郎(三井住友社組)、吉川 清峰(飛鳥労組)、吉野 将(東洋職労組)



多様な視点で討議していきます



◆時短推進委員会

～時短への新たな取り組みにむけて～

◆連帯で時短を実現しよう

日建協では、日建協本部と加盟組合が連帯して、年間をつうじて時短推進活動を実施するため時短推進委員会を設置しています。委員会では、加盟組合から集まった委員が建設産業の時短の実現にむけ、様々な施策や取り組みについて議論を行っています。

◆2013年度の時短推進委員会

今年度は全4回の委員会開催を予定しており、昨年1年間かけて策定した「中期時短方針2013」の加盟組合への周知推進を中心に活動していきます。また、時短への新たな取り組みも検討しながら、メンバー14名、一丸となって取り組んでいきます。

※中期時短方針：労働時間短縮にむけての具体的な取り組みや労働時間の数値目標を示したもの



チームワークで頑張ります！

2013年度 時短推進委員(敬称略)

飯塚 宏行(奥村職組)、加藤 義明(青木あすなろ職組)、假屋園 礼文(飛鳥労組)、岸 俊明(鉄建職組)、君川 太一(ペンタユニオン)、小林 聖忠(フジタ職組)、四十万 栄人(三井住友社組)、清水 浩二(大豊労組)、中村 信(東洋職労組)、畑山 康文(シミズユニオン)、平澤 直樹(戸田職組)、古久保 晴峰(西松職組)、松田 孝夫(佐藤職組)、谷島 渉(安藤ハザマユニオン)



◆賃金政策委員会

～連帯した賃金交渉の取り組みにむけて～

◆連帯して賃金水準の向上にむけて取り組もう

日建協では、建設産業に働く私たちのあるべき賃金水準をめざしています。そのために基本的な考え方として「日建協賃金政策」を定め、加盟組合と連帯して目標を共有しながら、賃金水準の向上に取り組んでいきます。

◆2013年度の賃金政策委員会

メンバー12名一丸となり、「日建協賃金政策」の見直しに取り組めます。

2013年度 賃金政策委員(敬称略)

大石 功(フジタ職組)、川口 昇平(奥村職組)、佐藤 秀樹(戸田職組)、中島 政太郎(西松職組)、藤田 良之(ペンタユニオン)、松島 浩己(飛鳥労組)、松田 孝夫(佐藤職組)、松本 吉生(東洋職労組)、三橋 久輝(三井住友社組)、谷島 渉(安藤ハザマユニオン)、吉田 雄二(青木あすなろ職組)、渡邊 善久(大和小田急労組)



連帯して頑張ります！



◆財政と活動に関する小委員会

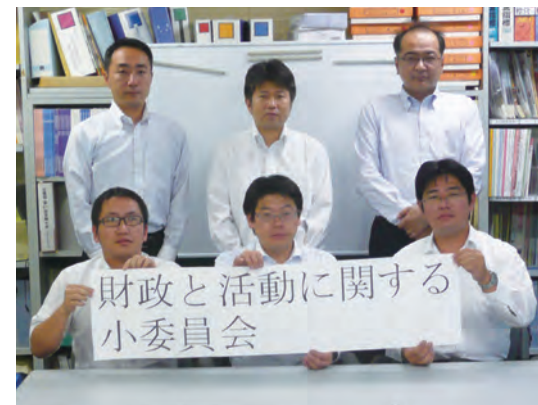
～財政と活動の適正なバランスによる、充実した活動の実現にむけて～

◆2013年度の財政と活動に関する小委員会

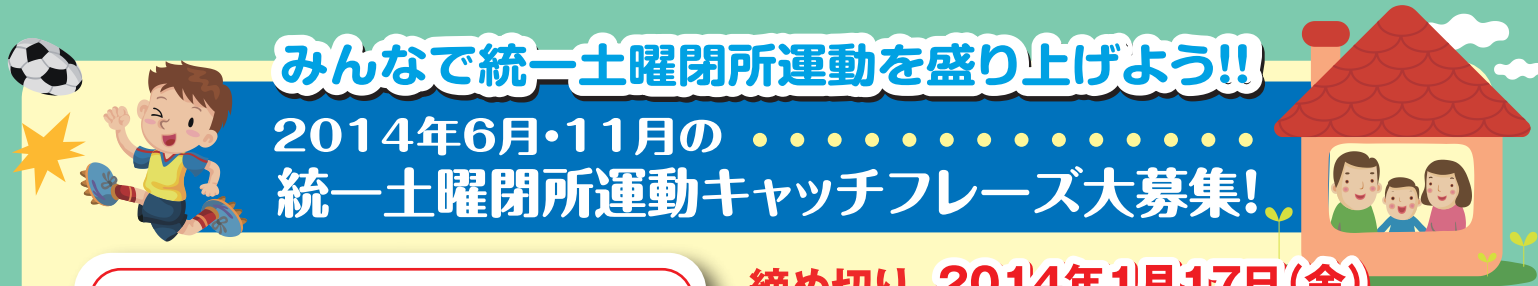
日建協では、加盟組合員数の減少が続くなか、財政とバランスの取れた活動の推進が求められています。今年度は3回の小委員会を開催し、2014年度以降3年間の財政を予測し、収入増加の方策や、より効率的な活動による支出見直しの方策を検討します。組合活動経験豊かなメンバー10名の意見をいただきながら、小委員会としての基本方針をとりまとめ、2014年度以降の活動方針や活動予算に反映させることで、より充実した活動の実現をめざします。

2013年度 小委員会メンバー(敬称略)

朝日 裕之(佐藤職組)、内田 善久(安藤ハザマユニオン)、林 康之(飛鳥労組)、松田 諭(戸田職組)、松本 吉生(東洋職労組)、門田 渉(フジタ職組)、矢澤 一勲(シミズユニオン)、山本 啓司(三井住友社組)、渡部 昌弘(西松職組)、渡邊 善久(大和小田急労組)



より充実した活動となるよう意見発信します



- 【内 容】
統一土曜閉所運動のキャッチフレーズの募集
- 【締め切り・応募資格】
2014年1月17日(金)
建設産業で働くみなさんと家族ならどなたでもOK！
- 【応募方法】
メール、FAX、はがきいずれも可。
(住所、氏名、会社名の記載をお願いします。)
E-mail：nachi@nikkenkyo.jp（日建協 那知）
FAX：03-5285-3879
住 所：〒169-0075
東京都新宿区高田馬場1-31-16守山ビル3F
- 【入賞者の表彰】
優秀賞（2点）2万円相当の商品券
佳 作（2点）5千円相当の商品券 を進呈
- 【入賞者の発表】
Compass3月号誌上を予定
（日建協HPにも掲載予定）
※応募に際しての個人情報、入賞者の発表と賞品発送以外には使用しません。

締め切り 2014年1月17日(金)

建設産業で働くみなさんご家族から、統一土曜閉所運動のキャッチフレーズを募集いたします！
建設産業全体に統一土曜閉所運動を盛り上げていくためにも、みなさんのアイデアを活かしたいと考えています。選ばれたキャッチフレーズは統一土曜閉所運動のポスターに掲載され、統一土曜閉所運動の協力要請、広報等に使用させていただきます。たくさんのご応募をお待ちしています！



ココのキャッチフレーズを募集！
(未発表作品に限ります。)

統一土曜閉所運動とは・・・

日建協では、ひとりでも多くの人に「休むことの大切さ」と「心と体の休息日」を実感してもらい、時短意識高揚につなげてもらうことを目的に、年2回（6月・11月の第2土曜日）の統一土曜閉所運動に取り組んでいます。

～2013年11月の統一土曜閉所運動ポスター～

【第1弾】
適量って
どのくらい？

お酒と上手に付き合おう！

皆さん！ 日々のお仕事お疲れ様です！ 楽しくお酒飲んでいますか？
お酒はコミュニケーションを図る有効なツールのひとつですよね。このコーナーでは、お酒の上手な飲み方や留意点について、お酒と健康に関する豆知識を加えながらご紹介していきます。



お酒を飲む理由はなんといっても『ストレス解消！』。アルコールは脳の中の理性や感情をつかさどる前頭葉に軽い麻痺を起こさせるため、嫌なことをパァーッと忘れさせてくれます。上手に飲めば「百薬の長」飲み過ぎると「万病の元」。一日の適量ってどのくらいかご存知ですか？ 一般的なお酒の種類ごとの適量についてまとめてみました！！



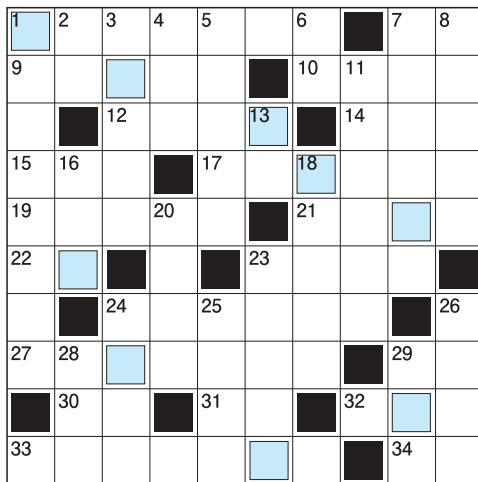
楽

クロスワードタイム

秋刀魚、きのこ、栗などなど、おいしいものが目白押しの秋。お酒の肴にも事欠きません。仲間で芋煮もいいですね。二重卒の言葉を並び替えると答えが出ます。答え、郵便番号、住所、氏名、加盟組合、Compass の感想を記入し、はがきかメールでご応募ください。正解者の中から抽選で30名様にクオカードを贈呈します。

■メ切:12月10日(火) ■宛先:mail→info@nikkenkyo.jp はがき→〒169-0075 新宿区高田馬場1-31-16 守山ビル3F 日建協クロスワード係

ヒント：経済効果はどれくらい？



ヨコのカギ

- 京都府北部、日本海の宮津湾にある、日本三景の一つ。
- 多くの人の上に立ち、統率する人。頭(かしら)。
- 柑橘(かんきつ)類に多く含まれる有機酸。清涼飲料・医薬品などに利用されています。
- 物事を、ある基準で区別したときのの一つ一つ。「資料を〇〇別に整理する」。
- 鉄道線路と道路が同じ平面上で交差する所。
- イタリア語、あるいはラテン語で「星」の意味。
- 1965年公開の特撮映画に登場する架空の怪獣の名称。
- 生体の免疫作用を抑制する薬剤。「免疫〇〇〇」。
- 棒の途中に置いた支点を中心に、小さい力を大きな力に、小さい動きを大きな動きに変える仕組み。
- 玄關の近い方にある、主に客間として使う畳を敷き詰めた部屋。
- 桜の花びらのような色。肌などの、ほんのりと赤みを帯びた色。
- 群馬県と長野県の境にあり、古くから中山道の難所として知られる。
- 地球表面上で水におおわれていない部分。
- 体長4cmほどの淡水魚。目が大きく、頭部の上端から飛び出していることが、名前の由来。
- 欧文の読点の一つで、「;」と書き表され、その機能はピリオドとコンマの中間的役割を担います。
- 焼けたり、壊れたりした建造物を建て直すこと。
- 大友克洋・木村真二による日本の絵本作品。2009年12月21日から25日までNHK-BS2のBS冬休みアニメ特選2009枠にてテレビアニメが放送されました。
- 動物を英語でいうと？
- 1984年に発売されたテレサテンのヒット曲。
- キク科の一年草で、秋に白色や紅色の花を咲かせる。
- からだや心を休めること。休息。
- 人民の意思。国民の意見。

タテのカギ

- 昭和10年(1935)に直木賞とともに設立された、純文学の新人に与えられる文学賞。
- 普通の状態。顔または視線の向いている方向。
- 油で揚げないこと。特に、スナック菓子やインスタントラーメンなどの製造の際に、油で揚げず、熱風などによって乾燥させたものをいいます。
- 物を2枚の刃で挟んで切る道具。
- イタリアの大詩人・ダンテの代表作。
- 棒の途中に置いた支点を中心に、小さい力を大きな力に、小さい動きを大きな動きに変える仕組み。
- 玄關の近い方にある、主に客間として使う畳を敷き詰めた部屋。
- 桜の花びらのような色。肌などの、ほんのりと赤みを帯びた色。
- 群馬県と長野県の境にあり、古くから中山道の難所として知られる。
- 地球表面上で水におおわれていない部分。
- 体長4cmほどの淡水魚。目が大きく、頭部の上端から飛び出していることが、名前の由来。
- 欧文の読点の一つで、「;」と書き表され、その機能はピリオドとコンマの中間的役割を担います。
- 焼けたり、壊れたりした建造物を建て直すこと。
- 大友克洋・木村真二による日本の絵本作品。2009年12月21日から25日までNHK-BS2のBS冬休みアニメ特選2009枠にてテレビアニメが放送されました。
- 動物を英語でいうと？
- 1984年に発売されたテレサテンのヒット曲。
- キク科の一年草で、秋に白色や紅色の花を咲かせる。
- からだや心を休めること。休息。
- 人民の意思。国民の意見。

Vol.798クロスワード 正解と当選

答えは
「ボウサイクンレン(防災訓練)」でした。



多数のご応募ありがとうございました。
次の当選者の方々にクオカードをお送りします。

谷中隆博(アサヌマ)、八木芳行(安藤ハザマ)、石橋崇司(奥村)、熱田良子、池部祥子、長沼 諭(鴻池)、田代正孝、森山章代(佐藤)、占部昇芳、矢澤一勲(シミズ)、中川 薫(鈴与三和)、福海 剛(銭高)、田中浩之、増田剛也(鉄建)、有馬広明(東鉄)、松本浩和(東洋)、山口慶和(戸田)、萩原由美子、東 圭介、持田哲郎(飛鳥)、梶野祐司、金丸信一、齊藤一男、佐藤 互(西松)、山野正晴(JS)、峯 純子(ビーエス三菱)、安井敏夫(松村)、田島節子(三井住友)、角谷明俊、川戸三郎(横河) <敬称略>

歩い

歩きスマホ。非常に危険だ。少し前になるが、「東京の四ツ谷駅ホームで小学生が歩き携帯でホームから転落」のニュースがあった。小さな画面の世界に大人も子供も魅了される。かくいう私も先日、歩道でつついスマホに見入っていると、正面から来た自転車のハンドル突端が私の腹部に激突した。ビックリした勢いで、背負っていたリュックのサイドポケットから満たんペットボトルが宙を舞った。スローモーションの様だった。しかしスマホはしっかりと握りしめていた。「スマホ命」である。相手は倒れている自転車を立ち上げると、こちらを一切気にせずにそのまま行ってしまった。何という事だ！

後日、今度は私が自転車で歩道を走りながら、ラーメン屋の前に差し掛かった時、店から急に客が出てきた。間一髪激突は間逃れた。相手はスマホを見ていなかったが、満腹ご満悦。さぞかしビックリしたであろうと「大丈夫ですか？」と声を掛けるところ、今回も無視された。何かがおかしい。みんな自分の世界に入っているのだろうか？

かような時代、「歩きスマホ」に「ながらスマホ」。現場内や移動中は特に危険だ。「命」に関わる危険が潜んでいる。大怪我してからでは遅い。十分にお気を付けいただきたい。スマホ「命」である。「今日も一日ご安全に！」(Oyazil)

編集後記

厳しい暑さは色褪せ、すっかり秋を感じられるようになりました。芸術の秋、読書の秋、スポーツの秋…、皆さんの秋は何ですか？ 少しでも時間を作って自分なりの秋を楽しみたいものです。

さて今号、「時短」をテーマにした特集『ようこそタイムゾーンへ』はいかがでしたか。時間は買えない、過ぎた時間は戻らない、だからこそ価値がある…あらためて時間の大切さを感じていただけたらと思います。

また、「適正工期」推進 Mascot “テキセイインコ”の、『ぜったい変えてやる!』という真剣な意気込みは伝わりましたか。建設産業の魅力向上、組合員の労働環境改善をめざした建築(民間)提言活動について、少しでも理解を深めていただけたのだと思います。

「Compass」は、日建協の活動をより理解してもらえよう、そして皆さんの日常が少しでも充実したものとなるよう、皆さんのニーズも取り入れて制作しています。ぜひ皆さんの声で「Compass」をよりよい機関誌に育てていただきたいと思います。忌憚のないご意見、ご感想をお待ちしています。